


Digital Color Printer

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

 **警告** 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示してあります。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

UP-DR100

安全のために

本機は正しく使用すれば事故が起きないように、安全には充分配慮して設計されています。しかし、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることもあり、危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

4～5ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の安全上の注意事項が記されています。22ページの「本機の性能を保持するために」も併せてお読みください。

定期点検をする

長期間、安全にお使いいただくために、定期点検をすることをおすすめします。点検の内容や費用については、お買い上げ店またはソニーの業務用製品ご相談窓口にご連絡ください。

故障したら使わない

すぐに、お買い上げ店またはソニーの業務用製品ご相談窓口ご連絡ください。

万一、異常が起きたら

- ・ 煙が出たら
- ・ 異常な音、においがしたら
- ・ 内部に水、異物が入ったら
- ・ 製品を落としたり、キャビネットを破損したときは

- ① 電源を切ります。
- ② 電源コードや接続ケーブルを抜きます。
- ③ お買い上げ店またはソニーの業務用製品ご相談窓口までご相談ください。

警告表示の意味

この取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながる可能性があります。



注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



注意



火災



感電



指挟み



高温

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



ぬれ手禁止

行為を指示する記号



指示



アース線を
接続せよ

目次

はじめに

本機の特長	6
主な使用例	6
各部の名称と働き	6

準備

付属品を確認する	8
組み立てる	8
DIP スイッチを設定する	9
コンピューターと接続する	10

操作

プリント紙・インクリボンを取り付ける	11
コンピューターからプリントする	16
グレーバランスを調節する	18
プリントした枚数およびインクリボン・プリント紙の残 量を表示する	20
プリントした枚数を表示する	20
プリント紙・インクリボンの残量を表示させる ..	20
プリンターのバージョンを表示する	21

その他

本機の性能を保持するために	22
使用上のご注意	22
設置するときの注意	22
お手入れ	22
使えるインクリボンとプリント紙について	25
主な仕様	26
メッセージ一覧	27
故障とお考えになる前に	28
保証書とアフターサービス	28
索引	29



火災



感電

下記の注意を守らないと、火災や感電により死亡や大けがにつながる可能性があります。



指示

本機は日本国内用です

交流 100V でお使いください。異なる電圧で使うと、火災や感電の原因となることがあります。



禁止

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。

- ・ 設置時に、製品と壁やラック、棚などの間に、はさみ込まない。
- ・ 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- ・ 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- ・ 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- ・ 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーのご相談窓口に交換をご依頼ください。



禁止

雨のあたる場所や、油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には設置しない

上記のような場所に設置すると、火災や感電の原因となることがあります。

この取扱説明書に記されている使用条件以外の環境での使用は、火災や感電の原因となることがあります。



禁止

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。

万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続ケーブルを抜いて、お買い上げ店またはソニーのご相談窓口にご相談ください。



分解禁止

外装を外さない、改造しない

キャビネットや裏ぶたなどを開けたり、改造したりすると、火災や感電の原因となることがあります。内部の調整や設定、点検、修理は、お買い上げ店またはソニーのご相談窓口にご依頼ください。



下記の注意を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えることがあります。



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグをさわらない
ぬれた手で電源プラグを抜き差しすると、感電の原因となることがあります。



指示

付属の電源コードを使う

付属の電源コードを使わないと、感電や故障の原因となることがあります。



アース線を接続せよ

安全アースを接続する

安全アースを接続しないと、感電の原因となることがあります。

安全アースを取付けることができない場合は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。



禁止

製品の上に乗らない、重いものを乗せない

倒れたり、落ちたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。



指示

お手入れの際は、電源を切る

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



注意

開梱、運搬時は慎重に

本機は重量があるので、本体を取り出す際や運搬時に腰を痛めるおそれがあります。



注意

プリンタードア開口部の突起に触れない

紙交換時にプリンター開口部の突起に触れると、けがをするおそれがあります。



指示

コード類は正しく配置する

電源コードや接続ケーブルは、足にひっかけると本機の落下や転倒などによりけがの原因となることがあります。十分注意して接続・配置してください。



禁止

カッターの刃には触れない

本体内部にはカッターがありますので排紙口から指を入れないでください。カッターの刃に触れると、けがをすることがあります。



指挟み

前扉の開閉の際に手や指を挟まない

前扉を開閉する時に手や指を挟み、けがの原因となることがあります。また、前扉を開いたままで使用しないでください。



高温

プリント直後サーマルヘッドに触れない

プリント直後は、サーマルヘッドが熱くなっている場合があり、触れるとやけどの原因となることがあります。



指示

電源コードにプラグおよびコネクターは突き当たるまで差し込む

真っ直ぐに突き当たるまで差し込まないと、火災や感電の原因となります。



禁止

プリント紙排出口をのぞかない

プリント紙排出口からプリントされたプリント紙が排出されます。のぞきこむと排出されたプリント紙にあたり失明やけがの原因となることがあります。プリント紙の排出口はのぞかないでください。



禁止

通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。風通しをよくするために次の項目をお守りください。

- ・ 壁から 10cm 以上離して設置する。
- ・ 密閉された狭い場所に押し込めない。
- ・ 毛足の長い敷物（じゅうたんや布団など）の上に設置しない。
- ・ 布などで包まない。
- ・ あお向けや横倒し、逆さまにしない。



禁止

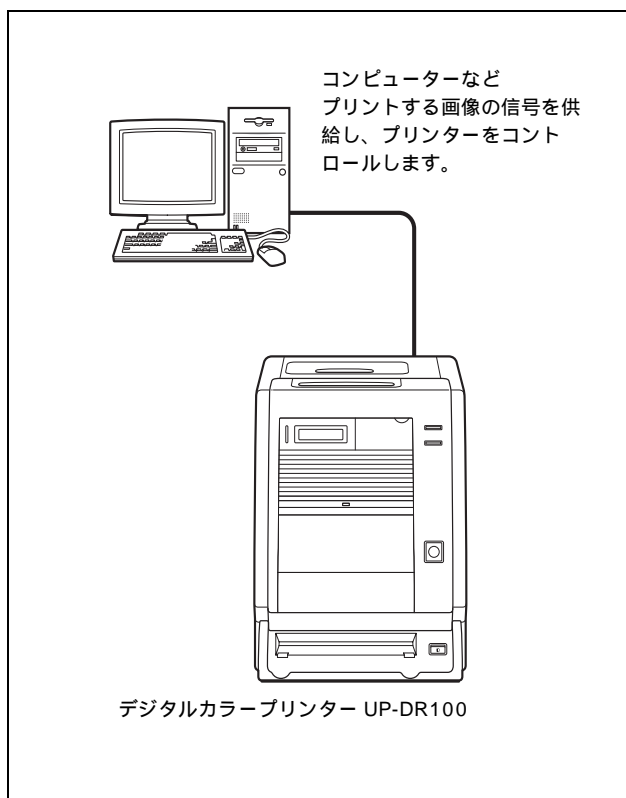
不安定な場所に設置しない

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、倒れたり落ちたりしてけがの原因となることがあります。また、設置・取り付け場所の強度を充分にお確かめください。

本機の特長

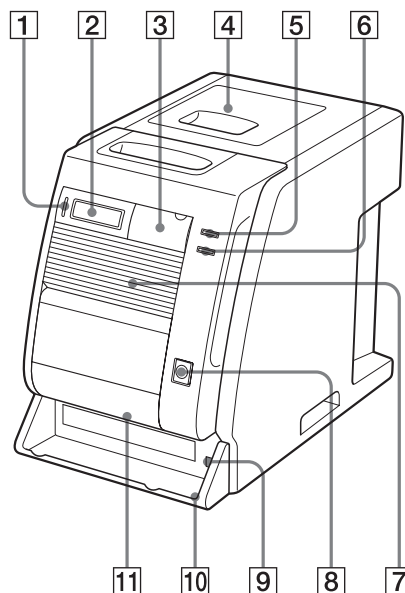
デジタルカラープリンター UP-DR100 は、コンピューターから送られてくるデジタルスチルカメラなどの画像データを4種類のサイズのプリント紙に、フルカラー（各色256階調、1670万色）でプリントするための、高画質、高解像度（334dpi）、高速の昇華熱転写型デジタルカラープリンターです。

主な使用例

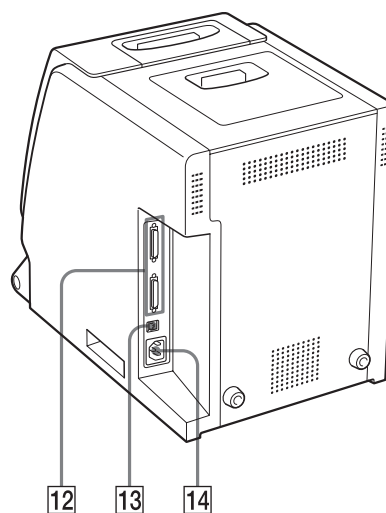


各部の名称と働き

フロントパネル



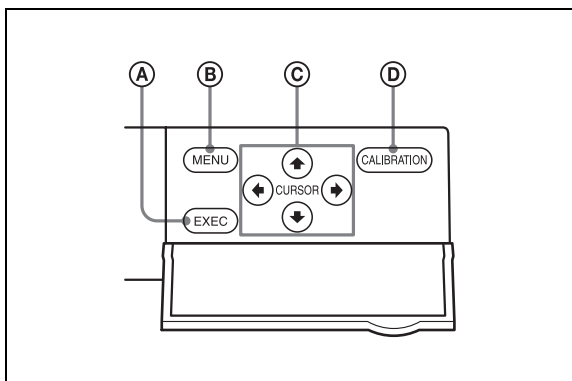
裏面パネル



- 1** ALARM ランプ (27)
電源を入れた後のイニシャライズ時、および紙づまりなどでエラーが起きたとき赤色に点灯します。

- 2** 液晶ディスプレイ (20、20、27)
プリント回数、プリント紙、またはインクリボンの残量を表示します。エラー発生時は、メッセージを表示します。

- 3** 内部操作パネル



- A** EXEC ボタン
グレー調整パターンをプリントするときに使用します。
- B** MENU ボタン (20)
プリント回数、プリント紙およびインクリボンの残量を確認するときに押します。MENU ボタンを押すと、プリンターはオフライン状態になり、ONLINE ランプが消灯します。
- C** カーソル移動ボタン (20)
液晶ディスプレイに表示する項目を選ぶときに使用します。
- D** CALIBRATION ボタン (18)
グレーバランスを調整するときに使用します。
- 4** プリント紙クリーニング用メンテナンスとびら (23)
とびらを開けるとプリント紙のプリント面に付着したほこりを取り除くごみ取りローラーが付いています。
- 5** ONLINE ランプ (17、20)
プリンターがコンピューター制御可能なオンライン状態のとき、緑色に点灯します。インクリボン、プリント紙の残量、プリント回数確認時など、プリンターがオフライン状態のとき消灯します。
- 6** PRINT ランプ (17)
プリント中緑色に点灯します

- 7** 通風孔 (24)
プリント中、サーマルヘッドの温度上昇を防ぐためにファンが内蔵されています。

- 8** FEED ボタン (14)
使用途中のプリント紙とインクリボンを交換した直後 (1 秒以上) に押します。白紙のプリント紙が複数枚排出されます。これにより、プリント紙の汚れた部分が排出され、またプリント紙が斜めにセットされた場合などは正しい設定位置に矯正されます。また、プリント中に FEED ボタンを 1 秒以上押すと、設定されているプリント枚数はキャンセルされ、メモリーに記憶された画像は消去されます。現在プリント中のものはそのままプリントを続け、プリント画が排出された時点でプリントが終了します。

- 9** ① POWER スイッチ (17)
本機の電源を ON/OFF (入/切) します。

- 10** ペーパークラップトレイ (12)
プリント画と次のプリント画の間に約 10mm の余白ができます。この余白が切り取られ、ペーパースクラップトレイ上に排出されます。

- 11** 排紙口
プリント画が排出されます。

- 12** SCSI コネクター (ハーフピッチ 50 ピン) (9、10)
本機を制御するコンピューターやその他の周辺機器を SCSI ケーブルで接続します。他方のコネクターは、他の SCSI デバイスをデジチェーン接続する場合のループスルー端子になっています。いずれか一方のコネクターが空きになる場合は、DIP スイッチで内蔵ターミネーターを ON に設定してください。
(「DIP スイッチを設定する」(9 ページ))

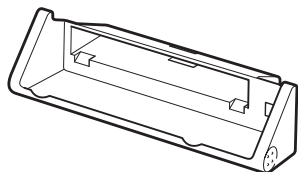
- 13** DIP スイッチ (9、10)
SCSI デバイスの ID 番号を設定します。また、内蔵ターミネーターの ON/OFF を設定します。
(「DIP スイッチを設定する」(9 ページ))

- 14** ~ AC IN (電源入力) 端子 (10)
電源コードを接続します。

付属品を確認する

付属品を確認してください。

ペーパークラップトレイ (1)



電源コード (1)



AC プラグ交換アダプター 3P 2P (1)

CD-ROM (1)

ソフトウェアライセンス契約書 (1)

取扱説明書 (1)

保証書 (1)

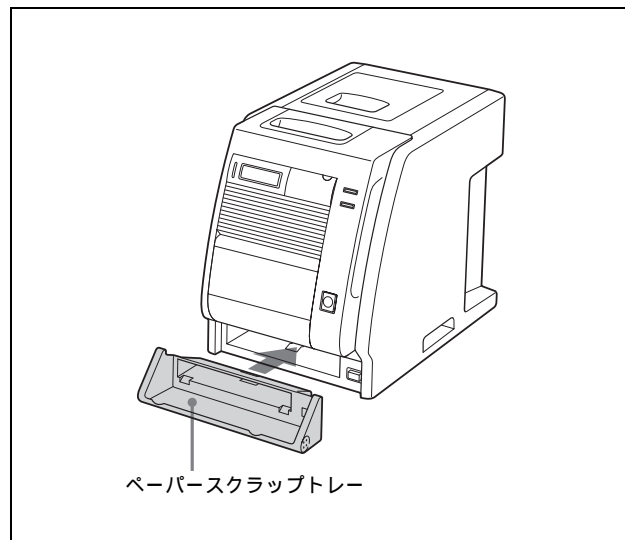
ご注意

- 梱包材から本体を取り出す際は、腰を痛めないようにご注意ください。
- 梱包箱や緩衝材は、プリンターの移動や輸送の際に必要です。捨てずに保管することをおすすめします。
- 輸送の際は、プリンターからインクリボンとプリント紙を取り外してください。

組み立てる

ペーパークラップトレイを本体に装着します。

ペーパークラップトレイを取り付けるには



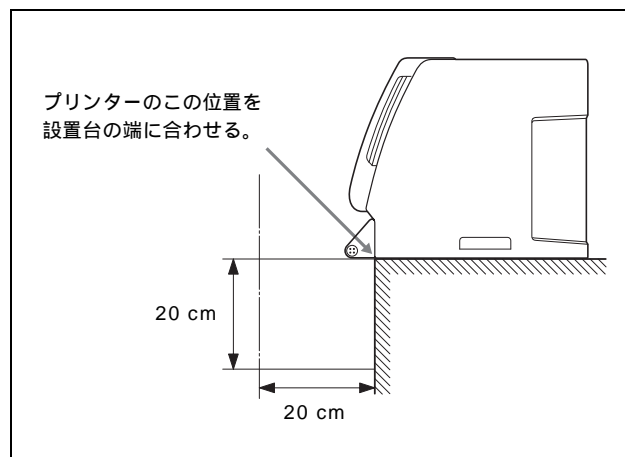
ペーパークラップトレイを取り外すにはペーパークラップトレイの両端を持って下向きに押さえつけながら手前に引き出します。

排紙されたプリント画をためるにはプリントバックの種類にかかわらずプリントスタッカー UPA-DR100PS をお使いになると最大 1 ロール分のプリント画をきれいにためることができます。

ご注意

プリントバック UPC-R57、UPC-R57A、UPC-R68A を使用してプリントする際は、プリンターの設置位置をご確認ください。

図のように手前、下方向に約 20cm の空間が必要です。

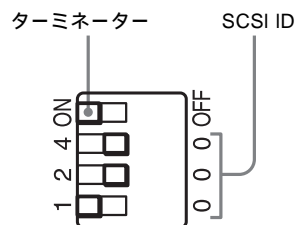


図のような空間がないと、排紙されたプリント画が排紙口に引っかかりトラブルを起こすおそれがあります。

プリント紙およびインクリボンの装着について
「プリント紙・インクリボンを取り付ける」(11 ページ)
をご覧ください。

DIP スイッチを設定する

側面の SCSI ID スイッチで SCSI ID を設定します。
工場出荷時は、DIP スイッチは次のように設定されてい
ます。



ターミネーターの ON/OFF

本機を SCSI バスの終端に接続する場合は、ターミネ
ーターを ON の位置に、それ以外の場合は、OFF に設定し
ます。

スイッチ	ON	OFF
TERMINATOR	内蔵ターミネーターが ON になる。	内蔵ターミネーターが OFF になる。

SCSI ID の設定

他の機器と重複しないように SCSI ID を設定します。
SCSI ID が重複すると誤動作の原因となります。

SCSI ID	SCSI ID スイッチ		
	1	2	4
0	0	0	0
1	1	0	0
2	0	2	0
3	1	2	0
4	0	0	4
5	1	0	4
6	0	2	4
7	1	2	4

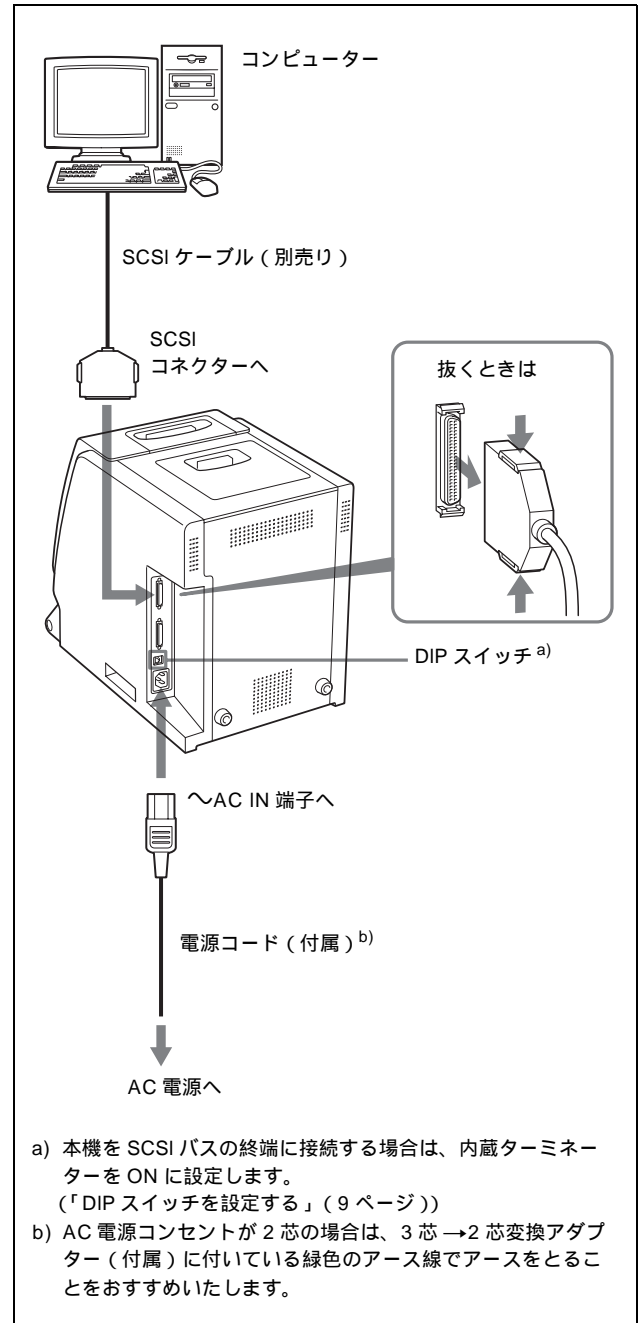
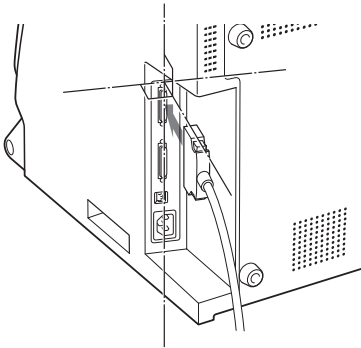
工場出荷時、SCSI ID は、1 に設定されています。

コンピューターと接続する

UP-DR100 は、SCSI インターフェースを持っているコンピューターや周辺機器と接続します。

ご注意

- ・ 接続するときは、すべての機器の接続を必ず切ってください。
- ・ 電源コードは最後に接続してください。
- ・ プリンターとコンピューター、周辺機器との接続についての詳細は、ご使用になる機器の取扱説明書をご覧ください。
- ・ SCSI ケーブルのコネクターは最後までしっかり挿入してください。
- ・ 1 台のホストコンピューターに接続する SCSI ケーブルの合計の長さは、3m 以内にしてください。
- ・ 1 台のホストコンピューターにプリンターのみ接続する場合は、SCSI ケーブルの長さは、1m 以内にしてください。
- ・ プリントするには、それぞれの環境に合ったドライバーソフトが必要です。
- ・ SCSI ケーブル接続時は次の点にご注意ください。
本機の SCSI コネクターは、SCSI ケーブルを差し込み易くするため斜めの面に取り付けられています。SCSI ケーブルを接続する際、図に示すように SCSI コネクターに対して真直ぐに挿入してください。窪んでいる面にそって平行に差し込むと、SCSI コネクターに対して斜めに差し込むことになり、コネクター内部の細いピンが折れ曲がり、プリンターが使用できなくなる場合があります。



ご注意

使用する SCSI ケーブルは、接続するコンピューターや周辺機器によって異なります。詳しくはご使用になる機器の取扱説明書をご覧ください。

また、FAST SCSI 対応 (ハイインピーダンス仕様) でシールドタイプのケーブルをご使用ください。

電源を入れるときは

周辺機器から電源を投入し、最後にコンピューターの電源を投入します。また、同一 SCSI チェーン内の機器の電源は必ず入れてください。

操作

プリント紙・インクリボンを取り付ける

初めてプリンターをお使いになる場合は、付属品を確認し、組み立ててからお使いください。（「組み立てる」（8ページ））

ここでは、プリンターの接続（10ページ）が済んで、実際のプリントを始める前の準備として、プリント紙およびインクリボンの取り付けについて説明します。

この操作は、日常のプリント操作で毎回する準備ではありません。必要に応じて行ってください。

ご注意

- ・ インクリボンとプリント紙は同じ箱に入っているものを必ずセットでお使いください。（「使えるインクリボンとプリント紙について」（25ページ））
- ・ 印画可能枚数は、プリントバックにより異なります。

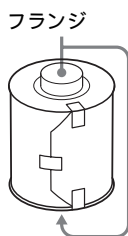
プリントバック	UPC-R35/ UPC-R35A	UPC-R46/ UPC-R46A	UPC-R57/ UPC-R57A	UPC-R68A
印画枚数	400 画面	350 画面	205 画面	185 画面
印画サイズ単位： mm	89 x 127	102 x 152	127 x 178	152 x 204

ご注意

インクリボンやプリント紙を途中で交換した場合、上記の可能枚数は、保証の限りではありません。

⚠ 注意

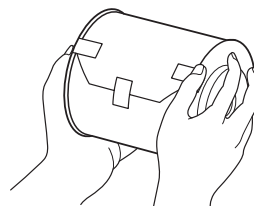
- ・ プリント紙を置くときは、右図のようにフランジ部分を上下にして縦置きにしてください。横に置くと回転して落下し、けがの原因となることがあります。



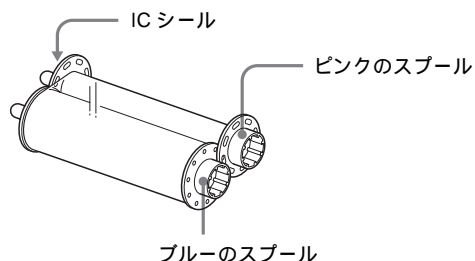
⚠ 注意

- ・ プリント紙は重いので両手でしっかりお持ちください。落したりするとけがの原因となることがあります。また、フランジ部分が破損したり、プリント紙にごみなどが付き、使用できなくなることがあります。
- ・ 片側のピンクのフランジ部分に白い IC シールが貼り付けてあります。このシールに傷をつけたり、ショックを与えないでください。そのプリント紙が使用できなくなることがあります。

両手でしっかり持つ。



- ・ インクリボンは、プリンター本体に取り付けるまで、ブルーとピンクのスパールを取りはずさないでください。
- ・ ピンクのスパールの片側に白い IC シールが貼り付けてあります。このシールを傷つけたり、ショックを与えないでください。そのインクリボンが使用できなくなることがあります。



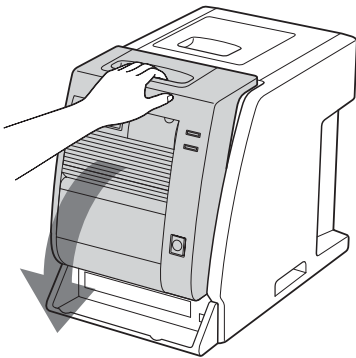
取り付けるには

初めてプリンターをお使いになる場合は、まずプリント紙およびインクリボンを取り付けてください。使用済みのプリント紙およびインクリボンの取外しかたについては、15 ページをご覧ください。

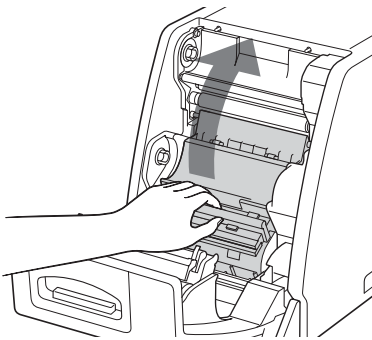
ご注意

フロントドアや、フロントドア開口部の突起に手や洋服がはさまれたり、引っ掛かったりしないようにしてください。

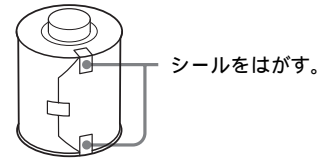
- 1 フロントドアの上部のレバーを手前に引っぱって開けます。



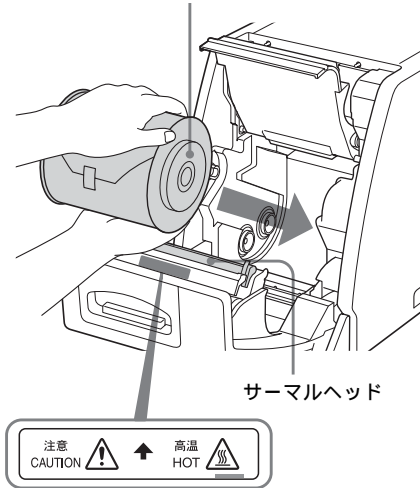
- 2 カバーを上へ上げます。



- 3 プリント紙の両側についているシールをはがしてから、プリント紙をペーパーホルダーに入れます。ピンクのフランジを右に、ブルーのフランジを左に入れてください。



プリンター内部のコロの色とプリント紙のフランジの色を合わせる。

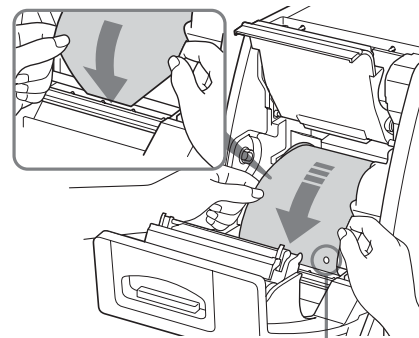


⚠ 注意

プリント終了直後は、サーマルヘッドが高温になっています。プリント紙をペーパーホルダーに入れる際、サーマルヘッドに触れるとやけどの原因となることがあるのでご注意ください。

- 4 プリント紙の先端に付いているラベルを取りはずし、用紙の両端を持って挿入口から入れ、目印の穴が現れてくるまで手で通していきます。

プリント紙がまっすぐになるように入れます。



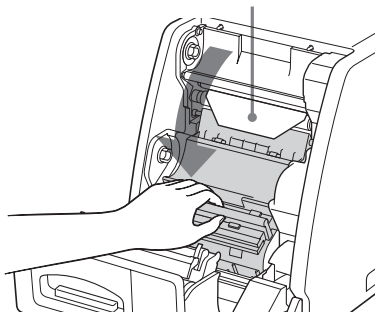
目印の穴

ご注意

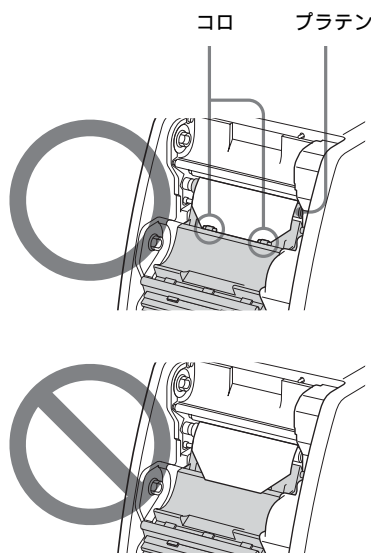
プリント紙に付いているシールは全てはがしてください。はがし忘れたシールがプリンターの本体に残るとトラブルの原因となることがあります。

5 カバーを開めます。

プリント紙の先端が出ていることを確認する。



プリント紙の先端が上の図より出ている場合は、コ口の下に入れてください。そのままにしておくと、紙詰まりの原因となることがあります。

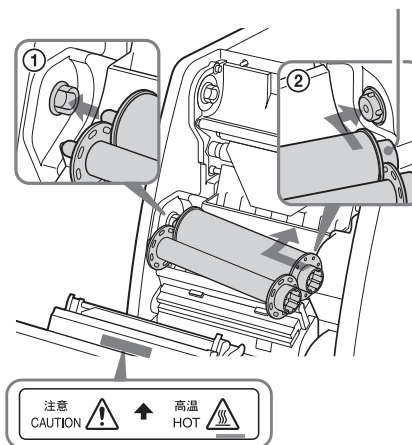


ご注意

プリント紙をセットした後は、プリント面には触れないでください。指紋や汗、折れ目が付くと、プリント画に影響が出ることがあります。

6 インクリボンの両方のスプールを持って、ブルーのスプールを下側のブルーのスプール受けにはめ込みます。

最初にスピールの左側を入れ、次に右側を入れてパチッと止まるまではめ込む。

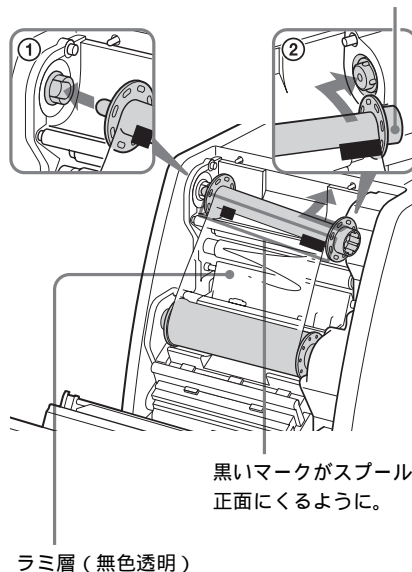


注意

プリント終了直後は、サーマルヘッドが高温になっています。インクリボンを交換する際、サーマルヘッドに触れるとやけどの原因となることがあるのでご注意ください。

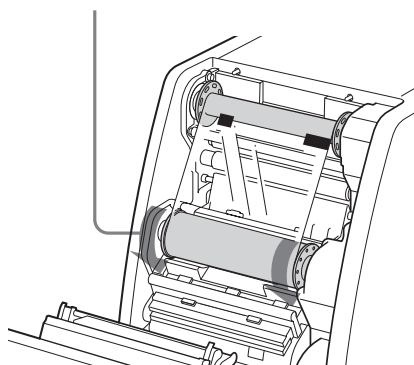
7 ピンクのスプールをブルーのスプールから取り外します。ピンクのスプールを上を引き上げて、ラミ層（無色透明）の部分が図の位置にくるように巻き取ります。次にピンクのスプール受けにはめ込みます。

最初にスピールの左側を入れ、次に右側を入れてパチッと止まるまではめ込む。

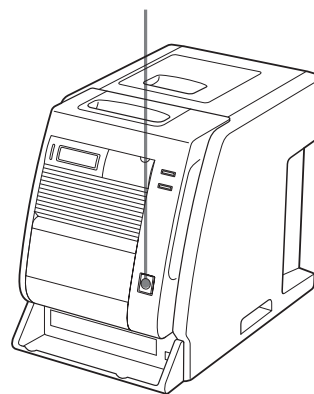


- 8 スプールがきちんとはまっていることを確認してから、インクリボンのたるみをとります。

ブルーのスプール側を巻取る。



FEED ボタン



プリント紙が数枚排紙され、印画可能な状態となります。

- 9 フロントドアを閉めます。
プリンターの電源スイッチがオフの場合はオンにします。
未使用のプリント紙およびインクリボンを取り付けた場合は、自動的にプリント紙が排出され、プリント可能な状態になります。
使用中のプリント紙およびインクリボンを取り付けた場合は、手順 10 に進んでください。

ご注意

フロントドアを閉める際は、ドアの左右がロックされるまできちんと閉めてください。きちんとロックされていないと、プリンターが正しく動作しない場合があります。

ドアの片側を押して閉めるとドアロックが完全にできない場合があります。

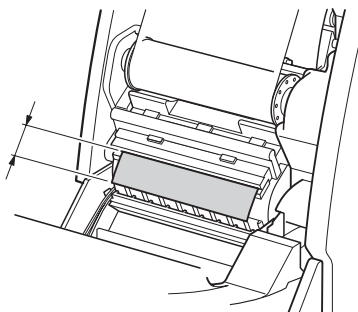
- 10 プリンター表示部にREADYが表示されたことを確認してください。
次に、プリント紙が斜めに取り付けられた場合にその位置を矯正するために、FEED ボタンを 1 秒以上押します。

ご注意

使用中のプリント紙をプリンターに取り付けた場合は、必ずこの操作を行ってください。

操作開始後、フロントドアを開けた場合
プリント紙をセットし、プリント操作を開始してからフロントドアを開けた場合、プリント紙の先端が飛び出ることがあります。
このような場合は、飛び出ている長さが 5cm 以下になるまで手で押し戻してから、フロントドアを閉めてください。
飛び出ている状態でフロントドアを閉めると、プリント画が排紙口に正しく排出されず紙詰まりの原因となります。

飛び出ている長さが約 5cm 以下になるように手で押し戻す。



ご注意

押し戻す際は、プリント画の表面には触れないでください。指紋や汗が付くと、プリント面に影響が出ることがあります。

プリントバック保存上のご注意

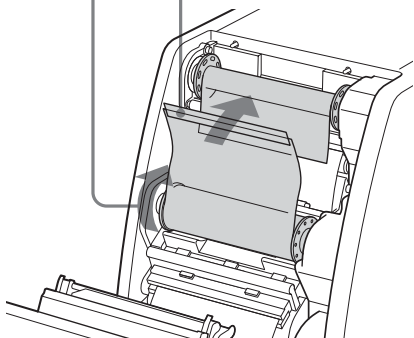
- 次のような場所での保存は避けてください。
 - 温度の高いところ
 - 湿度やほこりの多いところ
 - 直射日光の当たるところ
- 開封後はなるべく早くご使用ください。
- 使用中で保存するときは、製品の入っていた袋に入れてください。

インクリボンが切れてしまったときは

テープなどでつなげば、残りのリボンを使うことができます。

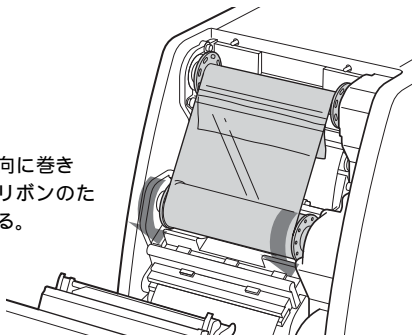
- 1 下側のリボンを引き出し、リボン先端の幅一杯にテープを貼り、上側のリボンに貼り付けます。

リボンを引き出す。 下側のリボンの先端に、リボンの幅一杯にテープを貼り、上側のリボンに貼りつける。



- 2 下側のスプールを矢印の方向に巻き取って、リボンのたるみをとります。

矢印の方向に巻き取って、リボンのたるみをとる。



これで印画可能な状態になります。リボンが切れた場所によっては、プリント画一枚分のリボンが失われる場合があります。

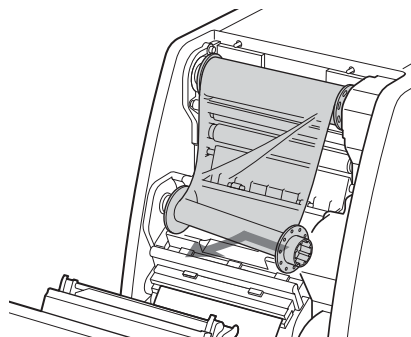
インクリボン・プリント紙を取り外すには

- 1 ペーパースクラップトレイに溜まっている紙片を取り除きます。

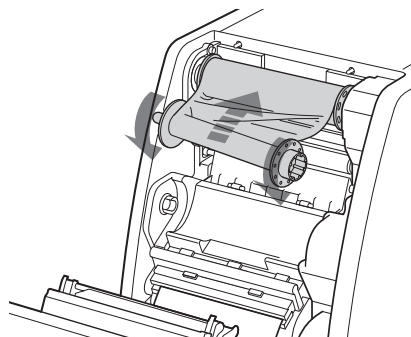
ご注意

ペーパースクラップトレイに紙片が溜まっているとフロントドアが最後まで開ききらない場合があります。

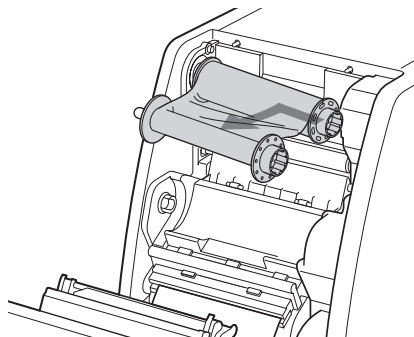
- 2 フロントドアの上部のドアを手前に引っぱって開けます。
- 3 ブルーのスプールを左側に押しつけながら、右側を手前に引いてブルーのスプールを取り外します。



- 4 緩んだリボンをまきとります。



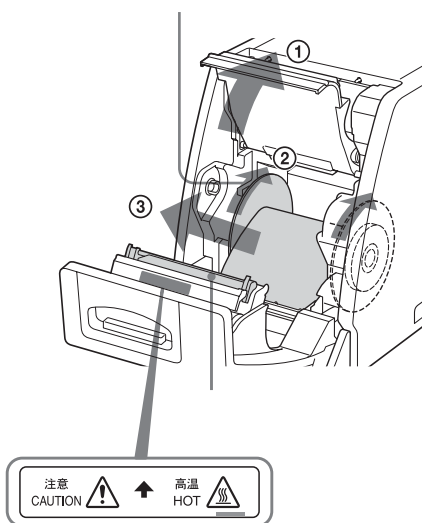
- 5 ピンクのスプールを左側に押しつけながら、右側を手前に引いて外します。
外したインクリボンとブルーのスプールとピンクのスプールとを合わせます。



- 6 プリント紙を取り外します。

- ① カバーを上を上げます。
- ② プリント紙の両側のフランジを手前から内側に回転させながら、残っている紙を巻き取ります。
- ③ プリント紙を取り外します。

フランジを手前から内側に回転させながら、浮いている紙を巻き取る。



⚠ 注意

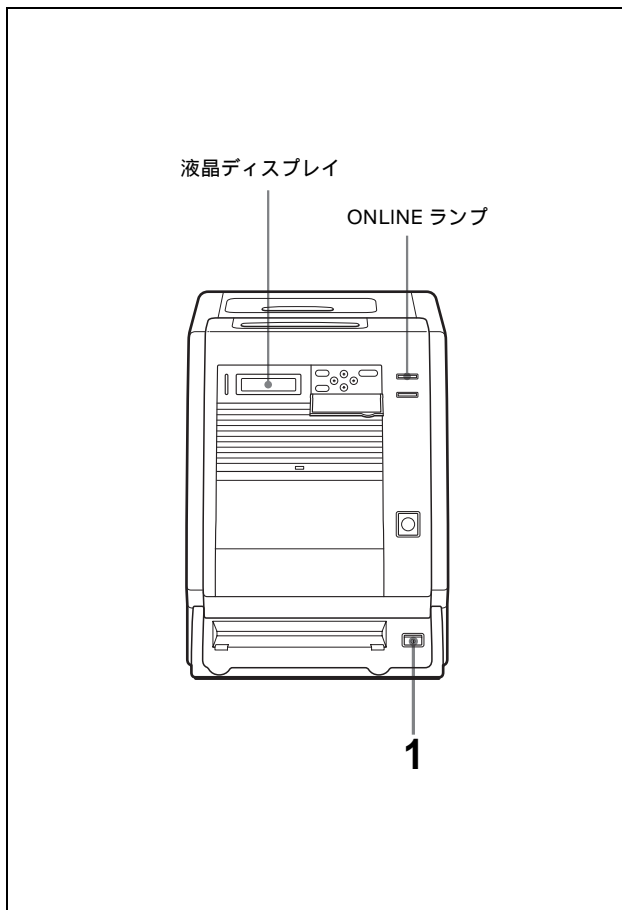
プリント終了直後は、サーマルヘッドが高温になっています。プリント紙を取り外す際、サーマルヘッドに触れるとやけどの原因となることがあるのでご注意ください。

コンピューターからプリントする

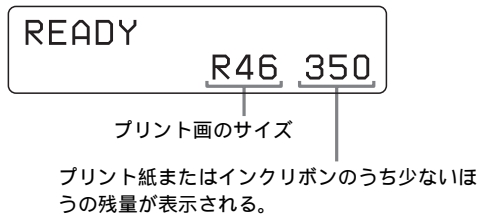
プリントを始める前に

- ・ プリンターとコンピューターなどの接続は済んでいますか。(10 ページ)
- ・ インクリボンとプリント紙は正しく取り付けられていますか。(11 ページ)
- ・ インクリボンとプリント紙は正しい組み合わせでセットされていますか。(25 ページ)

プリントするには



- 1 コンピューターとプリンターの電源を入れます。数秒後、液晶ディスプレイに次のメッセージが表示されます。READY 表示が出て、ONLINE ランプが点灯している間は、いつでもプリントできます。



液晶ディスプレイ上の表示とプリントバックについて

液晶ディスプレイ上の表示	プリントバック
R35	UPC-R35/UPC-R35A
R46	UPC-R46/UPC-R46A
R57	UPC-R57/UPC-R57A
R68	UPC-R68A

ご注意

- ・ コンピューターよりプリンターの電源を先に入れてください。
- ・ プリンターの電源を切った後再び電源を入れる場合は、5 秒たってから電源を入れてください。
- ・ コンピューターがハードディスクやフロッピーディスクにアクセスしているときに、プリンターの電源を入れたり切ったりしないでください。

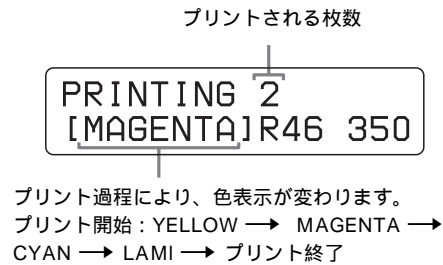
- 2 コンピューターからプリンターに画像データを送り、プリントを開始します。詳しくは、プリンタードライバーソフトウェアの説明書をご覧ください。

- ① 画像データが送られてくると、次のメッセージが表示されます



> : 全体の 20% を表示しています。上図の場合は 60% 分のデータが転送されていることを示します。

- ② コンピューターからプリント開始の命令が送られ、プリントが始まります。PRINT ランプが点灯し、メッセージが表示されます。

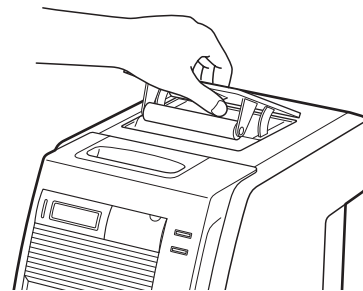


- ③ プリント終了後、排紙口からプリント画が出てきます。プリント時間は、画像サイズ、インクリボン、およびプリント紙により異なります。プリントが終わると、PRINT ランプが消灯し、液晶ディスプレイは READY 表示に戻ります。



ご注意

プリント中はメンテナンスとびらを開けないでください。プリント中にメンテナンスとびらを開けると、プリント画に影響が出ることがあります。



データ転送やプリントを途中でやめるには
FEED ボタンを 1 秒以上押し続けます。現在プリント中の
画像は最後までプリントされ、排出されます。
プリント紙が排出されるとプリンターは READY 表示に
戻ります。プリントする画像や枚数を設定していた場合
は、無効となります。

PLEASE WAIT
R46 349

メモリーについて

コンピューターから送られる画像データは、プリンター
内のメモリーに記憶されます。一度に複数の画像データ
を記憶することができます。

プリントできないとき

- ・ MENU ボタンを押してリボンの残量や、プリントした
枚数を確認しているときは、プリンターはオフライン状
態になり、コンピューターからプリントすることはでき
ません。
- ・ エラーメッセージが液晶ディスプレイに表示されてい
るときは、操作できません。「メッセージ一覧」(27 ペ
ージ)をご覧ください。

ご注意

プリント画を保存するときは

- ・ 直射日光の当たるところや、温度や湿度の高いところに
置かないでください。色が退色する場合があります。
- ・ プリント画に粘着テープを貼ったり、プリント画を消し
ゴムやデスクマットなどの可塑性を含むものに触れさせ
ないでください。
- ・ プリント画にアルコールなどの揮発性有機溶剤をこぼさ
ないようにしてください。

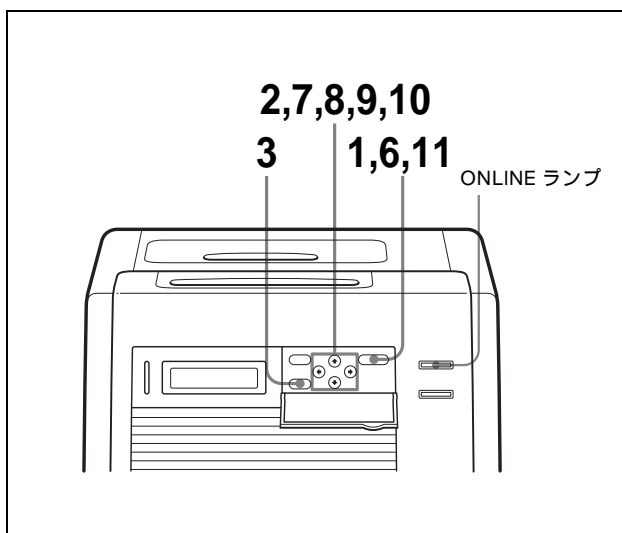
グレーバランスを調節する

インクリボンとプリント紙は、ペアごとにグレーバラ
ンスにばらつきがある場合があります。新しいインクリボ
ンとプリント紙は、同じ箱に入っているものをペアで使
用してください。また、新しいインクリボンとプリント
紙を取り付けたときには、グレーバランスの調整を行う
ことをおすすめします。

プリンターのグレーバランスは出荷時は No.0 に設定され
ています。設定した値は電源を切っても保持されます。

ご注意

画像のプリント中は、グレーバランスの調整はできませ
ん。



- 1 CALIBRATION ボタンを押します。
ONLINE ランプが消灯し、プリンターはオフライン
状態になります。
- 2 ◀、▶ ボタンを押して「GRAY PATCH PRINT」を
選びます。

「GRAY PATCH PRINT」が表示さ
れるまで ◀、▶ ボタンを押す。

GRAY PATCH PRINT
[A+B] [EXEC]

- 3 EXEC ボタンを押します。
プリンターはオンライン状態に戻り、プリントが開
始されます。
UPC-R35/R35A、UPC-R46/R46A の場合は、プ
リント A とプリント B の 2 枚に分けてプリントされ
ます。

UPC-R57/R57A、UPC-R68A の場合は、1 枚にプリントされてでできます。

4 プリント結果 A を見ながら、No.0 ~ No.88 のパターン中、グレーバランスが最適と思われるものを決めます。

5 再度、プリント結果 B を見ながら、No.0 ~ No.88 のパターン中、グレーバランスが最適と思われるものを決めます。

6 CALIBRATION ボタンを押します。
ONLINE ランプが消灯し、プリンターはオフライン状態になります。

7 左、右 ボタンを押して「GRAY ADJUST [A]」を選びます。
グレー調整バランスモードに入ります。

「GRAY ADJUST」が表示されるまで 左、右 ボタンを押す。

```
GRAY ADJUST[A]
< 0 >          [0-88]
```

8 左、右 ボタンを押して、手順 4 で選んだパターン番号を表示させます。

例：手順 4 で No.18 のパターンがグレーバランス最適と判断した場合

```
GRAY ADJUST[A]
< 18 >         [0-88]
```

左、右 ボタンを押してグレーバランスの No.18 を表示させる。

9 左、右 ボタンを押して「GRAY ADJUST [B]」を選びます。
グレー調整バランスモードに入ります。

「GRAY ADJUST」が表示されるまで 左、右 ボタンを押す。

```
GRAY ADJUST[B]
< 0 >          [0-88]
```

10 左、右 ボタンを押して、手順 5 で選んだパターン番号を表示させます。

例：手順 5 で No.39 のパターンがグレーバランス最適と判断した場合

```
GRAY ADJUST[B]
< 39 >         [0-88]
```

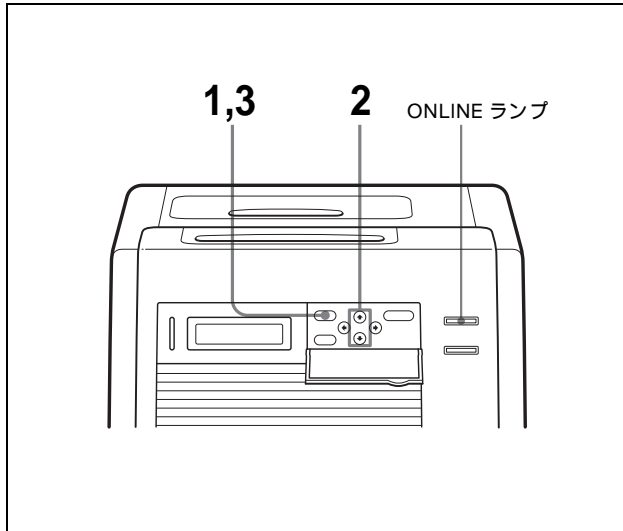
左、右 ボタンを押してグレーバランスの No.39 を表示させる。

11 CALIBRATION ボタンを押します。
プリンターは、オンライン状態に戻り、ONLINE ランプが点灯します。

プリントした枚数および インクリボン・プリント 紙の残量を表示する

プリントした枚数を表示する

電源を入れてからプリントした枚数の合計を表示させることができます。電源投入後プリントしていない場合は、「0」が表示されます。また、プリンターの使用を開始してから今までに何枚プリントしたかを表示させることができます。



- 1 MENU ボタンを押します。
ONLINE ランプが消灯し、プリンターはオフライン状態になります。
- 2 左、右 ボタンを押して表示させたい項目を選びます。

電源投入後からのプリント枚数を表示させたい場合「CURRENT PRINTS」を選びます。

「CURRENT PRINTS」が表示されるまで 左、右 ボタンを押す。

CURRENT PRINTS
[22]

プリントした枚数

プリンターを初めて使用してからプリントしたのべ枚数を表示したい場合「TOTAL PRINTS」を選びます。

「TOTAL PRINTS」が表示されるまで 左、右 ボタンを押す。

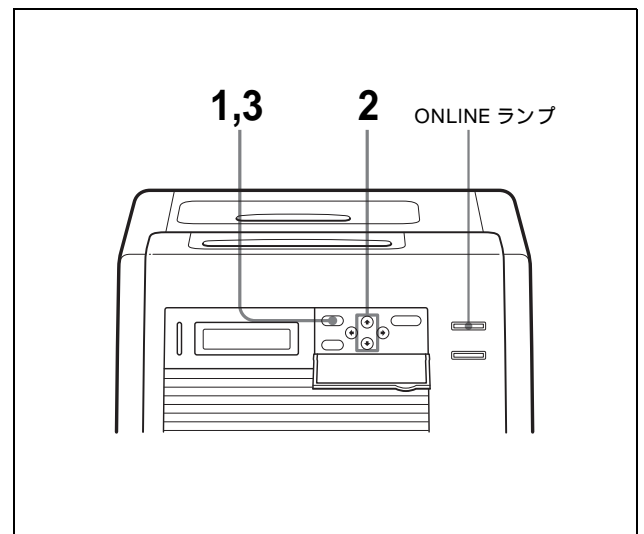
TOTAL PRINTS
[8024]

プリントした枚数

- 3 確認後再度 MENU ボタンを押します。
プリンターは、オンライン状態に戻り、ONLINE ランプが点灯します。

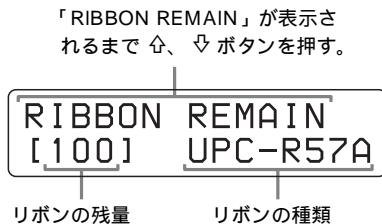
プリント紙・インクリボンの残量を表示させる

プリント紙およびインクリボンの残量を液晶ディスプレイに表示させることができます。

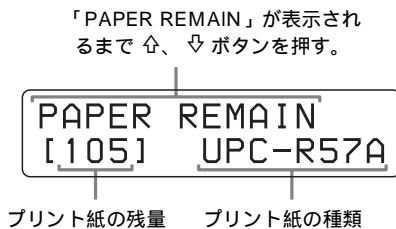


- 1 MENU ボタンを押します。
ONLINE ランプが消灯し、プリンターはオフライン状態になります。
- 2 冫、卩 ボタンを押して表示させたい項目を選びます。

インクリボンの残量を表示させたい場合
「RIBBON REMAIN」を選びます。



プリント紙の残量を表示させたい場合
「PAPER REMAIN」を選びます



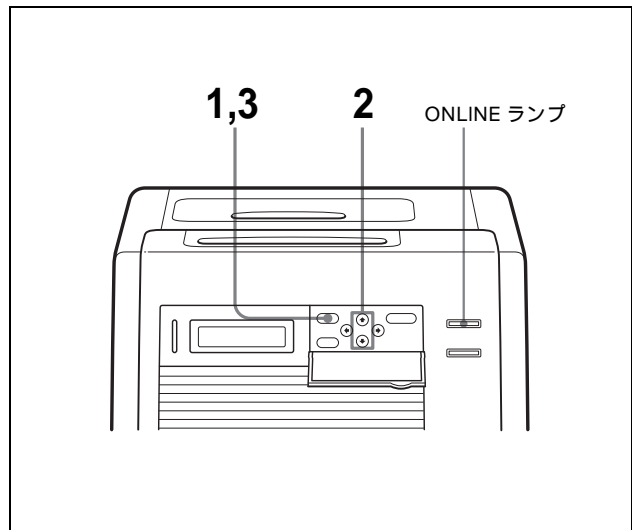
- 3 確認後再度 MENU ボタンを押します。
ONLINE ランプが点灯し、プリンターは、オンライン状態に戻ります。

ご注意

プリント紙およびインクリボンは最初から使用しないと、残り枚数が正しく表示されない場合があります。

プリンターのバージョンを表示する

プリンターのファームウェアのバージョンを表示させることができます。



- 1 MENU ボタンを押します。
ONLINE ランプが消灯し、プリンターはオフライン状態になります。
- 2 冫、卩 ボタンを押して「VERSION」を選びます。

「VERSION」が表示されるまで
冫、卩 ボタンを押す。





- 3 確認後再度 MENU ボタンを押します。
ONLINE ランプが点灯し、プリンターは、オンライン状態に戻ります。

プリンターに関する最新の情報は、下記のサイトをご覧ください。

<http://www.sony.co.jp/DP-driver/>

本機の性能を保持するために

本機の性能を保持するために、「安全のために」(2ページ)「 警告」(4ページ)「 注意」(5ページ)と併せてご覧ください。

使用上のご注意

長い間ご使用にならないときは

- ・ 本体の電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いてください。
- ・ プリントパックを使用途中で保存する場合は、製品の入っていた袋に戻して密封し、なるべく冷暗所にて保存してください。再度使用する場合には、水滴が付かないように、部屋の温度になじませてから開封して、使用してください。

輸送するときは

プリンターを輸送する際は、付属品を取り外してください。付属品をつけたまま持ち運ぶと故障の原因になることがあります。

結露について

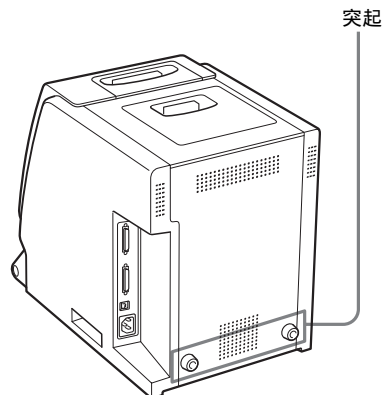
- ・ 湿度の低い場所から暖かい場所に移動したり、暖房で湯気や湿気がたち込めた部屋に置くと、本機の内部に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。この状態で本機を使用すると、正常に動かないばかりでなく、故障の原因になります。結露の可能性のあるときは、電源を切り、しばらくそのまま放置しておいてください。
- ・ 冬の寒い部屋から急に暖かい部屋にプリントパックを持ち込むと、インクリボンやプリント紙に水滴がつくことがあります。そのまま使用すると、プリンターの故障の原因になる場合があります。また、一度水滴が付いたプリントパックを使用すると、プリント画像にシミなどが現れることがありますので、急激な温度変化は避けてご使用ください。

設置するときの注意

本体裏面にある通風孔はふさがらないでください。

ご注意

裏面にある2つの突起は、壁際などに設置する際、本体裏面が密着するのを防ぐためのもので、裏面を下にして設置するためのものではありません。



お手入れ

ご注意

お手入れの際は、必ず電源を切って電源プラグを抜いてください。

キャビネットが汚れたら

キャビネットの汚れがひどいときは、水または水で薄めた中性洗剤溶液で湿らせた布をかたくしぼってから、汚れをふきとってください。このあと乾いた布でからぶきしてください。

シンナーやベンジン、アルコール、化学ぞうきんなどは、表面の仕上げをいためることがありますので、使用しないでください。

プリント紙を1ロール使用したら

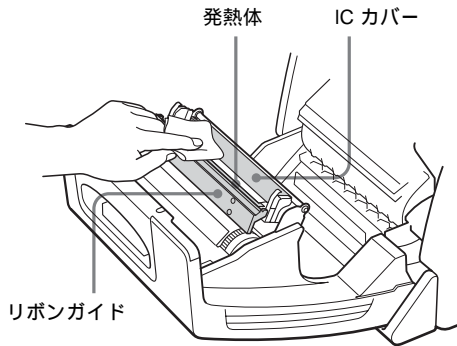
プリント紙を1ロール使用して交換したあとは、以下のクリーニングを行ってください。

ご注意

アルコールが完全に乾いてからプリンターの動作を開始してください。アルコールが完全に乾いていないと、プリント画に影響が出る場合があります。

サーマルヘッドのクリーニング :

柔らかい布でサーマルヘッドの発熱体と IC カバー、リボンガイドを軽く拭きます。

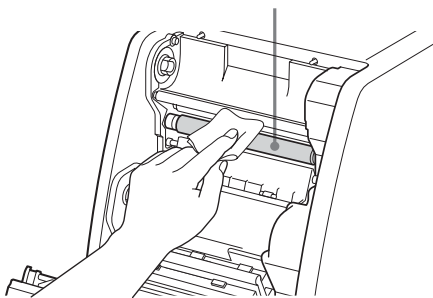


柔らかい布でサーマルヘッドのまわりを軽く拭く。

プラテンローラーのクリーニング :

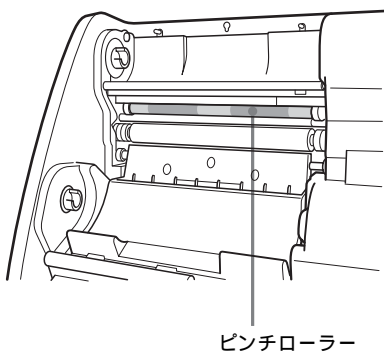
アルコールを浸した柔らかい布で軽く拭いてください。

プラテンローラーを廻しながらアルコールを浸した柔らかい布で軽く拭く。



ピンチローラーのクリーニング :

ピンチローラーを廻しながら、アルコールを浸した柔らかい布で軽く拭きます。

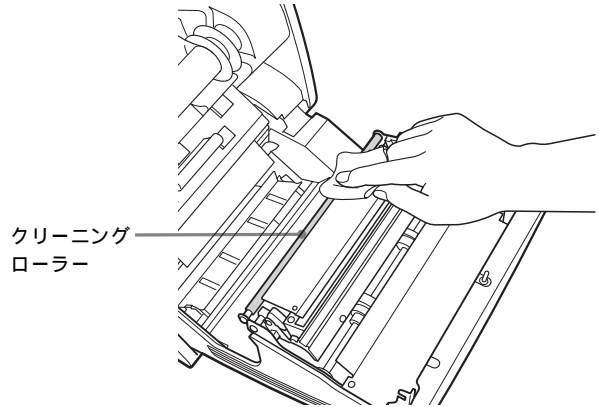


リボン用クリーニングローラーのクリーニング :

アルコールを浸した柔らかい布でローラーを回しながら軽く拭いてください。

ご注意

ゴムローラーの表面は柔らかく傷がつきやすいので、お手入れの際は傷をつけたり、表面をひっばったりしないように注意してください。



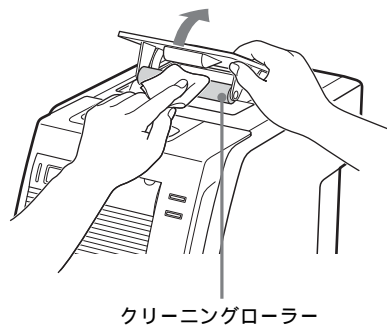
プリント紙用ごみ取りローラーのクリーニング :

プリンター上部のメンテナンスとびらを開け、アルコールを浸した柔らかい布で軽くふきます。

ご注意

ゴムローラーの表面は柔らかく傷がつきやすいので、お手入れの際は傷をつけたり、表面をひっばったりしないように注意してください。

必ず片方の手でとびらを支えてください。

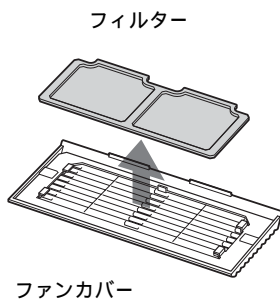
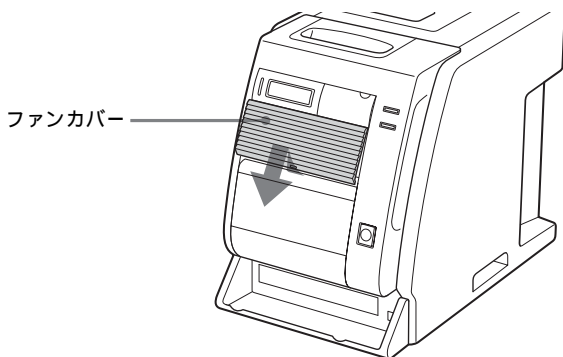


こんな症状が出たら

液晶ディスプレイに HEAD IN COOLING というメッセージが頻繁に現れるようになったら：

本機の裏面と前面には通風孔があります。前面のフィルターを掃除してください。フィルターが汚れてくると、サーマルヘッドの温度の冷却時間が長くなり、印画時間が変わってきます。

1 ファンカバーを外し、フィルターを取り出します。



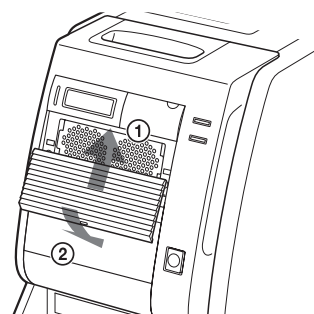
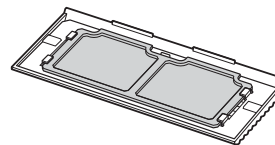
2 フィルターを水洗いしてほこりを取り除きます。

ご注意

フィルターの網をブラシなどでこすらないでください。

3 完全に乾いたらフィルターを元に戻し、ファンカバーを本体に取り付けてください。

フィルターをファンカバーに正しく取り付ける



ご注意

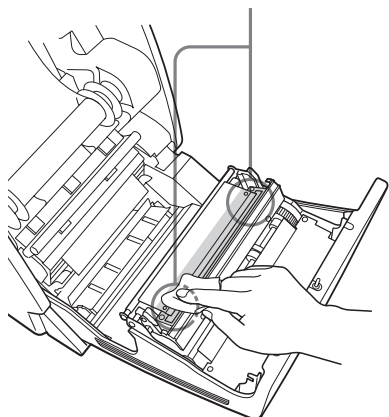
ファンカバーはきちんと取り付けてください。取り付けられていないと、プリント画にごみなどがつき、プリント画に影響が出る場合があります。

プリント画にひっかききずなどのプリント不良が生じた場合：

ラミネートカラープリントパック UPC-R35/R35A/UPC-R57/R57A を数ロール使用してプリントした後、UPC-R46/R46A/UPC-R68A を使用してプリントするとプリント画に白いスジが生じたり、ひっかききずなどのプリント不良が起こる場合があります。そのような場

合は、アルコールを浸した柔らかい布でサーマルヘッドを軽く拭きます。

サーマルヘッドの両端をアルコールを浸した柔らかい布で軽く拭く。



使えるインクリボンと プリント紙について

インクリボンとプリント紙は、必ず同じ箱に入っているものをペアでお使いください。

ラミネートカラープリントパック UPC-R35/R35A
カラーのインクリボンとプリント紙が入っています。
プリント用インクリボン 1 巻
L サイズ用プリント紙 1 巻

ラミネートカラープリントパック UPC-R46/R46A
カラーのインクリボンとプリント紙が入っています。
プリント用インクリボン 1 巻
キングサイズ (KG) 用プリント紙 1 巻

ラミネートカラープリントパック UPC-R57/R57A
カラーのインクリボンとプリント紙が入っています。
プリント用インクリボン 1 巻
2L サイズ用プリント紙 1 巻

ラミネートカラープリントパック UPC-R68A
カラーのインクリボンとプリント紙が入っています。
プリント用インクリボン 1 巻
2KG サイズ用プリント紙 1 巻

ご注意

ラミネートカラープリントパック UPC-R57/R57A、UPC-R68A をご使用になる場合は、プリンターの設置場所を確認してください (8 ページ)。

印画可能枚数について

印画可能枚数は、プリントパックにより異なります。

プリント パック	UPC-R35/ UPC-R35A	UPC-R46/ UPC-R46A	UPC-R57/ UPC-R57A	UPC-R68A
印画枚数	400 画面	350 画面	205 画面	185 画面
印画サイ ズ単位 :	89 × 127	102 × 152	127 × 178	152 × 204
	mm			

ご注意

インクリボンやプリント紙を途中で交換した場合、上記の印画可能枚数は、保証の限りではありません。

主な仕様

電源	AC 100 V 50/60 Hz
消費電流	最大 2.7A (プリント時)
動作温度	5 ~ 35
動作湿度	20% ~ 80%
最大外形寸法	約 280 × 362 × 434mm (最大突起含まず) 約 280 × 362 × 448mm (最大突起含む) (幅 / 高さ / 奥行き)
質量	約 17.5kg (本体のみ)
プリント方式	昇華熱転写型
感熱ヘッド	13.1 ドット / mm、2048 ドット (334dpi)
プリント階調	8bit 階調処理 (イエロー、マゼンタ、シアン)
最大プリントサイズ	UPC-R35/R35A : 89 × 127mm (3.5 × 5 inches) UPC-R46/R46A : 102 × 152mm (4 × 6 inches) UPC-R57/R57A : 127 × 178mm (5 × 7 inches) UPC-R68A : 152 × 204mm (6 × 8 inches)
プリント画素数	UPC-R35/R35A : 1170 × 1670 ドット UPC-R46/R46A : 1341 × 1999 ドット UPC-R57/R57A : 1670 × 2341 ドット UPC-R68A : 1999 × 2683 ドット
プリント時間	UPC-R35/R35A : 約 23 秒 UPC-R46/R46A : 約 24 秒 UPC-R57/R57A : 約 36 秒 UPC-R68A : 約 40 秒
入力端子	AC IN (電源入力用)
制御用端子	SCSI-2 インターフェース (ピンタイプ ハーフピッチ 50 ピン) 2 個
付属品	ペーパースクラップトレイ (1) 電源コード (1) CD-ROM (1) AC プラグ変換アダプター 3P→2P (1) ソフトウェアライセンス契約書 (1) 取扱説明書 (1) 保証書 (1)

別売り品

使用インクリボン / プリント紙

ラミネートカラープリントパック

UPC-R35
UPC-R35A
UPC-R46
UPC-R46A
UPC-R57
UPC-R57A
UPC-R68A

プリントスタッカー

UPA-DR100PS

SCSI-2 インターフェース

コネクタ ハーフピッチ 50 ピン ピンタイプ 2 個
ターミネーター 内蔵ターミネーター (DIP スイッチによ
り ON/OFF 可能)

SCSI ID 0 ~ 7 (DIP スイッチにより設定)

転送速度 Fast SCSI 対応
最大 10M バイト / 秒

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

本機は「高調波ガイドライン適合品」です。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

メッセージ一覧

液晶ディスプレイに表示されるエラーメッセージおよび警告メッセージは以下のとおりです。メッセージに従って次に示す処置をしてください。

エラーメッセージ

異常が起ると、本機前面の ALARM ランプが赤色に点灯し、液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。

メッセージ	意味 / 対処
DOOR OPEN	フロントドアが開いています。 フロントドアをロックされるまできちんと閉めてください。(14 ページ)
FEED ERROR	プリント紙の給排紙が正しく行えませんでした。 プリント紙を正しく装着してください。(12 ページ)
MECHA TROUBLE	<ul style="list-style-type: none">インクリボンが切れている可能性があります。 インクリボンを貼りあわせてください。(15 ページ)インクリボンを使いきました。 使用可能なプリント紙とインクリボンを取り付けてください。(11 ページ)プリント紙を使い切りました。 使用可能なプリント紙とインクリボンを取り付けてください。(11 ページ)プリンターの動作に問題が発生しました。 インクリボンが正しく装着されていない場合があります。正しく装着してください。(11 ページ) それでもこのメッセージが消えない場合は、ソニー業務用ご相談窓口までご相談ください。
MEDIA MISMATCH	プリント紙とインクリボンの組み合わせが正しくありません。 同じプリントバックに入っていた組み合わせにしてください。(25 ページ)
NO PAPER	プリント紙がありません。 プリント紙を入れてください。(11 ページ)
NO RIBBON	インクリボンがありません。 インクリボンを取り付けてください。(11 ページ)
PAPER END	所定枚数のプリント紙を使いきました。 使用可能なプリント紙とインクリボンを取り付けてください。(11 ページ)

メッセージ	意味 / 対処
PAPER ERROR	<ul style="list-style-type: none">プリント紙を使いきました。 使用可能なプリント紙とインクリボンを取り付けてください。(11 ページ)プリント紙に付いている IC シールの情報に異常が発生しました。 新しいインクリボンとプリント紙に交換してください。(11 ページ)
RIBBON END	所定枚数のインクリボンを使いきました。 使用可能なプリント紙とインクリボンを取り付けてください。(11 ページ)
RIBBON ERROR	<ul style="list-style-type: none">インクリボンが切れている可能性があります。 インクリボンを貼りあわせてください。(15 ページ)インクリボンを使いきました。 使用可能なプリント紙とインクリボンを取り付けてください。(11 ページ)インクリボンに付いている IC シールの情報に異常が発生しました。 新しいインクリボンとプリント紙に交換してください。(11 ページ)

その他のメッセージ

その他の場合は、メッセージが表示されるだけで、ALARM ランプは点灯しません。メッセージに従って処置をしてください。

メッセージ	意味 / 対処
HEAD IN COOLING	サーマルヘッドの温度が上昇しました。 メッセージが消えるまでお待ちください。 自動的にプリントを再開します。
PLEASE WAIT	プリント中止やプリンターが異常終了したためにプリント紙を排出しています。 メッセージが消えるまでお待ちください。

故障とお考えになる前に

修理にお出しになる前にもう一度点検してください。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にお問い合わせください。

症状	原因/処置
プリント紙が装着できない。	プリント紙を左右逆に入れていませんか。プリンター内部のコロの色とプリント紙のフランジの色を合わせてください。(13 ページ)
インクリボンが装着できない。	インクリボンのスプールを上下間違えて装着していませんか。インクリボンのスプールとプリンター本体のスプール受けの色を合わせて正しく装着してください。(13 ページ)
プリント紙を装着したのに NO PAPER が表示される。	プリント紙が正しく装着されていますか。正しく装着してください。(11 ページ)
リボンを装着したのに NO RIBBON が表示される。	リボンが正しく装着されていません。正しく装着してください。(11 ページ)
プリント画とプリント紙がずれてプリントされる。	プリント紙が斜めに装着されてしまいました。装着した後、FEED ボタンを1秒以上押し、プリント紙を排出しましたか。FEED ボタンを押すことにより、斜めに装着されたプリント紙が正しく装着されます。(14 ページ)
PAPER END が表示されているのにプリント紙が余っている。	トラブルではありません。プリント紙は余分に巻いてあります。余ったプリント紙は取り出し、新しいインクリボンとプリント紙を装着してください。(11 ページ)
RIBBON END が表示されているのにリボンが余っている。	トラブルではありません。インクリボンは余分に巻いてあります。余ったインクリボンは取り出し、新しいインクリボンとプリント紙を装着してください。(11 ページ)
HEAD IN COOLING が頻繁に表示される。	フィルターにごみがたまっている可能性があります。フィルターのクリーニングをしてください。(24 ページ)
プリント面に白ひっかききずが入る。	サーマルヘッドにゴミが付着している場合があります。乾いた柔らかい布でクリーニングしてください。(24 ページ)

保証書とアフターサービス

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも調子の悪いときはサービスへ

お買い上げ店、またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

ソニーサービス窓口にご相談なさるときは、次のことをお知らせください

- ・ 型名：UP-DR100
- ・ 故障の内容：できるだけ詳しく

購入年月日

索引

あ	
アフターサービス.....	28
安全のために.....	2
い	
インクリボンとプリント紙.....	25
え	
エラーメッセージ.....	27
お	
主な使用例.....	6
か	
各部の名称と働き	
フロントパネル.....	6
裏面パネル.....	6
内部操作パネル.....	7
く	
グレーバランスの調節.....	18
こ	
故障とお考えになる前に.....	28
コンピューターと接続.....	10
し	
準備.....	8
仕様.....	26
せ	
性能の保持	
キャビネットが汚れたら.....	22
結露.....	22
ごみ取りローラーのクリーニング	
23	
サーマルヘッドのクリーニング....	
23	
使用上の注意.....	22
設置するときの注意.....	22
ピンチローラーのクリーニング....	
23	
プラテンローラーのクリーニング	
23	
そ	
操作.....	11
た	
ターミネーター.....	9
と	
特長.....	6

ひ	
表示	
プリンターのバージョン.....	21
プリントした枚数.....	20
プリント紙・インクリボンの残量	
20	
ふ	
付属品	
確認する.....	8
組み立てる.....	8
プリント紙・インクリボン	
切れてしまったときは.....	15
取り付ける.....	11
取り外す.....	15
プリントパック.....	25
プリントする.....	16
プリントパック	
印画可能枚数.....	25
UPC-R35/R35A.....	25
UPC-R46/R46A.....	25
UPC-R57/R57A.....	25
UPC-R68A.....	25
へ	
ペーパースクラップトレイ.....	8
ほ	
保証書.....	28
め	
メッセージ一覧.....	27
D	
DIPスイッチの設定	
ターミネーター.....	9
SCSI ID.....	9
S	
SCSI ID.....	9

